

いずもぎき

議会だより

第125号

2024 令和6年10月25日

9月定例会

もくじ

令和5年度決算認定	2
令和5年度主な事業	4
9月定例会	6
決算審査特別委員会	7
一般質問(7人が町政をただす)	8
全員協議会	16
総務文教常任委員会視察報告	18
議会モニターの委嘱	18
出まえ議会のお知らせ	19
議会サロンのお知らせ	19

秋空いっぱいシャボン玉
(まんぶくまつり)

出雲崎町議会
ホームページ



年度決算認定

令和5年度
決算認定

令和5年度
主な事業

9月定例会

補正予算質疑

一般質問

全員協議会

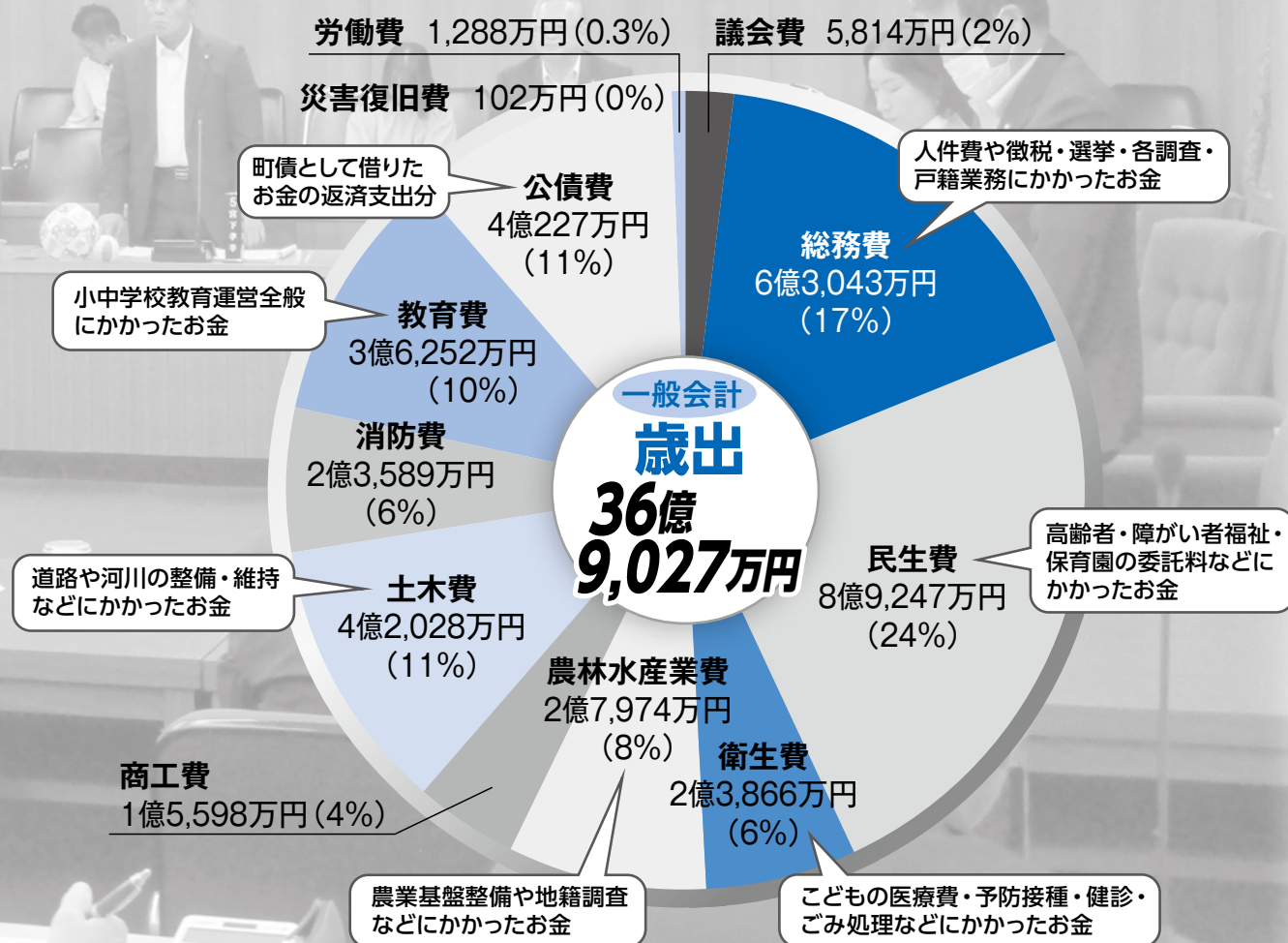
総務文教常任
委員会視察

議会モニタ
の委嘱

おまえ議会の
知らせ

議会サロン

845万円 総額 57億5,659万円 (前年比 3,502万円増)
246万円 総額 55億 273万円 (前年比 6,287万円増)



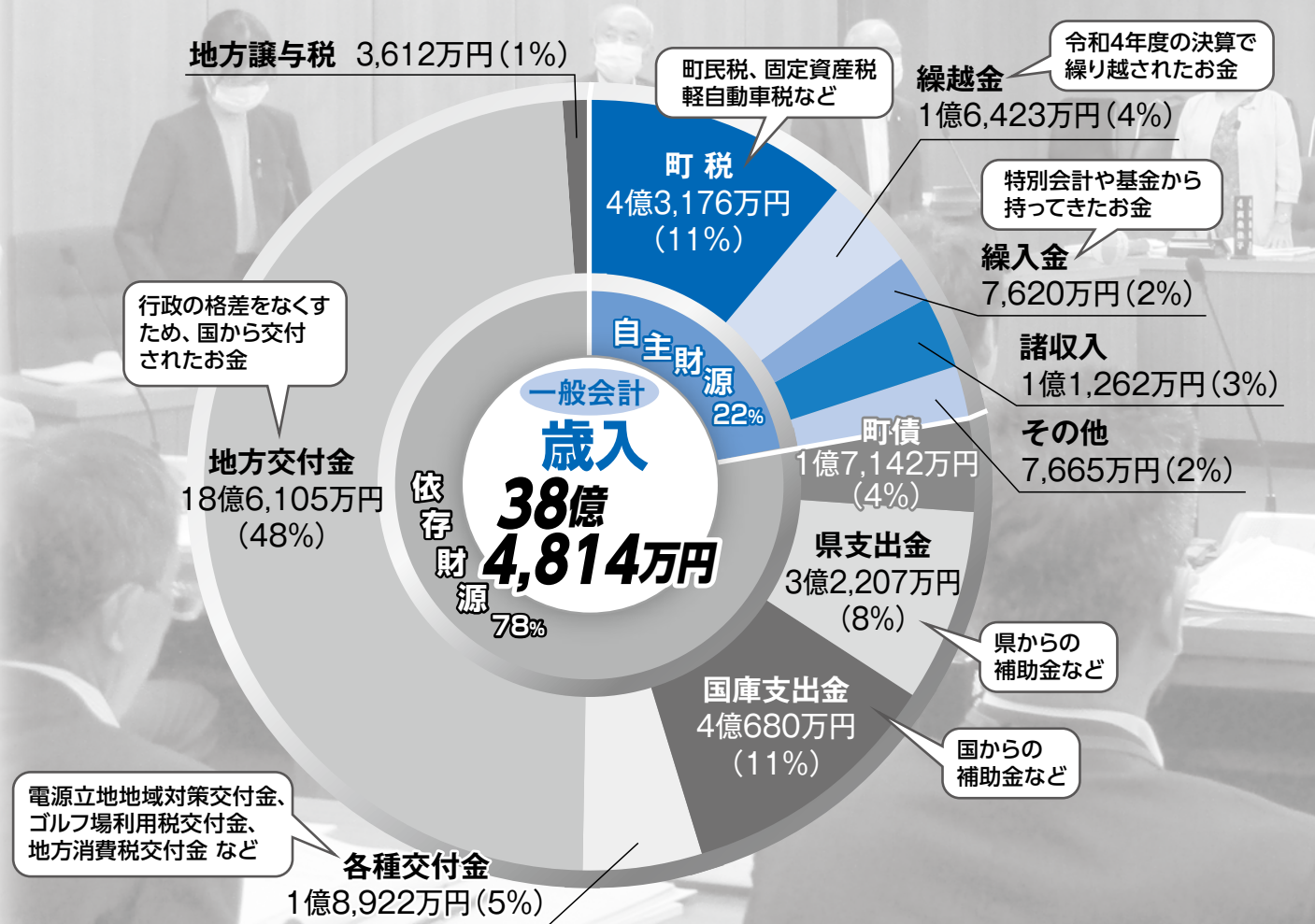
各会計の決算状況

会計名		決算		差引残高
		歳入	歳出	
一	一般会計	38億4,814万円	36億9,027万円	1億5,786万円
特別会計	国民健康保険	5億5,538万円	5億2,364万円	3,174万円
	介護保険	7億 526万円	6億7,133万円	3,393万円
	後期高齢者	6,630万円	6,475万円	155万円
	簡易水道	1億7,762万円	1億7,241万円	520万円
	特定地域生活排水	1,193万円	826万円	367万円
	農業集落排水	9,453万円	8,904万円	549万円
	下水道	2億6,358万円	2億5,091万円	1,267万円
	宅地造成	3,383万円	3,212万円	171万円
合計		57億5,659万円	55億 273万円	2億5,386万円

令和5年

一般会計と8特別会計の決算は

歳入	一般会計	38億4,814万円	特別会計	19億
歳出	一般会計	36億9,027万円	特別会計	18億1,000万円



金額は1万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額と一致しません

町債（借金）と基金（貯金）の状況

町債（借金）	基金（貯金）
(一般会計) 25億5,858万円	(一般会計) 25億5,858万円
(特別会計) 12億7,229万円	(特別会計) 12億7,229万円
合計 38億3,087万円	合計 38億3,087万円
町民1人あたり 96.8万円 (千円未満切り捨て)	町民1人あたり 75.9万円 (千円未満切り捨て)

令和6年3月末人口：3,955人

依存財源とは？

国や県から入ってくるお金
地方交付税、交付金、支出金、町債、譲与税

自主財源とは？

町が自主的に収入できるお金
町税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

ピックアップ!!

設備の新設や更新でサービス品質向上へ ～主な事業を紹介～

建設課関係

○除雪委託料	1,634万円	……冬季道路・歩道の除雪（一斉出動4回、部分出動5回）
○町道維持修繕工事	658万円	……町道乙茂久田線道路修繕工事 他7件
○交通安全施設維持修繕工事	550万円	……町道小木相田線ロープ柵設置工事 他4件
○道路新設改良舗装工事	9,491万円	……町道の新設・改良・舗装工事
○大門町営住宅外壁塗装修繕工事	330万円	……大門町営住宅外壁改修工事（3棟）
○町新生活スーパー住まい取得リフォーム支援補助金	939万円	……町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援（9件）
○がんばる街なみ支援助成金	400万円	……新たに定住する者、集客に資する商業活動を行う者を対象に、工事を施工業者等に発注して行う場合に、その経費の一部を助成（4件）

教育課関係

○通学バス運行業務委託料	2,143万円	……大型バス2台を配車、小学校児童と12～3月は中学生徒も含め運行
○通学バス運転代行業務委託料	334万円	……上記に加え、町有スクールバスを運行するにあたり業務委託
○公設学習塾講師報酬	437万円	……退職教員7名を配置し、中学生向けに公設学習塾を開設（計177回実施）
○給食地場産食材料費	304万円	……保護者負担軽減と地産地消の観点から地場産食材の経費を町が負担

子ども未来室関係

○保育実施委託料	6,903万円	……小木之城保育園、広域入所保育実施委託料
○認定こども園施設型給付費等	7,667万円	……出雲崎町こども園、広域入所認定こども園給付費
○児童手当	4,020万円	……児童手当支給（R5.2～R6.1まで 延3,622人）
○きらりの森整備工事	1,013万円	……小竹地内（菜園だった場所）の屋外遊具設備整備工事
○町幸せを運ぶコウノトリ祝金	390万円	……出産準備金ならびに出産祝金



きらりの森（屋外遊具施設）



マイクロバス（新型）

令和5年度 一般会計 主な事業を

総務課関係

○町デマンド交通運行費補助金	1,131万円 ……地域住民の移動手段を確保するための運行費補助
○ふるさと出雲崎応援基金積立	1,599万円 ……ふるさと応援の寄附金を財源とした積立(寄附 334件)
○ふるさと納税寄附謝礼	388万円 ……ふるさと納税の寄附者の返礼品
○燃料購入費等助成事業交付金	1,839万円 ……燃料価格等の高騰が長引いていることに対する町民への生活支援助成券を配布

町民課関係

○資源ごみ分別回収・処理委託料	2,485万円 ……生活環境の保全と公衆衛生の向上と適正処理
○一般ごみ収集運搬・処理委託料	3,640万円 ……同 上
○ふるさと就職支援商品券発行事業交付金	545万円 ……新規学卒者、Uターン者に対し、商品券を1月1万円交付(受給者 50人)

保健福祉課関係

○高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業	598万円 ……交通機関の利用が困難な方や、交通手段を持たない高齢者にタクシーバス券を支給(利用者359人)
○後期高齢者医療広域連合負担金	6,009万円 ……共通経費・医療給付費負担金
○子どもの医療費助成事業	1,146万円 ……子どもの医療費の助成(0歳から高校卒業まで)
○新型コロナウイルスワクチン接種対策費	1,142万円 ……予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種の実施
○定期予防接種委託料	895万円 ……予防接種法に基づく定期接種の実施

産業観光課関係

○町主食用米緊急支援事業補助金	1,991万円 ……物価高騰や異常気象によって経営が圧迫されている農業者への支援
○中山間地域等直接支払交付金	1,151万円 ……集落協定関係活動費他、農業生産活動等に係る経費に対する補助
○海浜クリーン作戦委託料	1,016万円 ……海岸線ならびに漁港内における漂着物の清掃処理
○プレミアム付商品券利用事業交付金	6,442万円 ……町民への生活支援と町内事業者の活性化対策として商品券10,000円分を5,000円で販売 また、住民税非課税世帯又は家計急変世帯には30,000円分を無料で追加交付

可決した補正予算

会 計		補正額	補正後の予算額
令和6年度一般会計（第5号）【専決】		197万円	37億 367万円
令和6年度一般会計（第6号）		5,139万円	37億5,506万円
特別会計	介護保険事業（第1号）	3,402万円	6億9,202万円
	後期高齢者医療（第2号）	122万円	7,494万円
	住宅用地造成事業（第2号）	75万円	1,129万円
公営企業会計	簡易水道事業（第1号）	334万円	2億 186万円

一般会計補正予算（第5号）専決

主な歳入	主な歳出
・ 県緑のばんそうこう事業分担金 …………… 17万円	・ 県緑のばんそうこう工事（上中条地区） …… 170万円
・ 県緑のばんそうこう事業補助金 …………… 85万円	・ 町農業用施設災害復旧事業補助金
・ 前年度繰越金追加 …………… 35万円	（上野山地区） …… 27万円
・ 県緑のばんそうこう事業費 …………… 60万円	

一般会計補正予算（第6号）

主な歳入	主な歳出
・ 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金追加 …………… 913万円	・ バス待合所除去工事 …………… 276万円
・ 財政調整基金繰入減 …………… ▲5,679万円	・ 被用者児童手当 …………… 665万円
・ 前年度繰越金追加 …………… 7,507万円	・ 非被用者児童手当 …………… 236万円
	・ 定期予防接種委託料追加 …………… 442万円
	・ 任意予防接種助成追加 …………… 31万円
	・ 産後ケア（宿泊型）事業委託料 …………… 18万円
	・ 暖房機購入 （西越地区・ハツ手地区農村環境改善センター） … 84万円
	・ 事業承継支援業務委託料 …………… 49万円
	・ 町新生活スーパー住まい取得・ リフォーム支援補助金追加 …… 170万円
	・ 小中学校統合型校務支援 システム構築業務委託料 …………… 258万円
	・ 佐渡島の金山世界遺産登録 記念講演会事業 …………… 170万円

バス路線（大寺線）の廃止に伴い、スクールバス利用のない4棟を除去するもの

令和6年10月以降に変更となる児童手当支給の追加

新型コロナウイルスワクチン予防接種助成

陳情

陳情第5号
「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

審査結果
採 択

教育委員会委員の任命

人 事	・ 宮田 よしみ 氏（大寺）
案 件	・ 松岡 聡 氏（川西）

議案20件を
可決・承認

令和6年度

9月

決算審査特別委員会

令和5年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し、次の意見を付して全会一致で認定されました。



委員長 高桑 佳子

- * デマンド交通の町外への運行や出雲崎版ライドシェアの運行も視野に入れ、町民の足となる地域公共交通利便性の向上を図るよう望む。
- * コンビニ交付サービス運用については、高額な委託料を払っているが、利用者が伸びておらず、費用対効果を考慮し利用率の改善を図るよう望む。
- * 子どもたちの居場所づくりとなっている「放課後子ども教室」は、ユニークで多様な展開をしており、今後も継続的な運営に期待する。
- * 歳出予算の不用額は、一般会計及び特別会計を併せて、対前年度比0.9%減少しているものの、令和5年度の不用額は両会計を併せて2億3千万円超となっていることから、歳出予算計上にあたり、客観的視野に立つて積算精査を行なうよう求める。
- * 高齢者福祉タクシー・バスの利用率が前年度より低くなっているため、利用率の向上を求める。
- * 健康診断後の精密検査対象者が速やかに再検査を行なうよう、積極的に促す事を求める。
- * 農業法人化に向け、計画通りに進めるよう求める。

補正予算質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

**バス待合室
除却工事**
276.8万円

高桑議員 大寺線廃止に伴うもので、現在スクールバスの利用が無いものがあるが、今後スクールバスの利用がある場合はどうするか。

総務課長 今回取り壊す対象の4棟は老朽化が進んでおり地元と協議して進めている。スクールバスで新規に利用が発生すれば、協議して新しく建てるなどの対応をしたい。

**佐渡島の金山世界遺産
登録記念講演会事業**
170万円

高桑議員 講演会謝礼としては高額であるが、詳しい内容はどうか。

加藤議員 一過性の講演会だけでなく、今後、出雲崎の魅力を発信する手立はどうか。

教育課長 11月17日(日)に「佐渡島の金山と良寛の生家橘屋」と題し、天領の里時代館で全国良寛会会長小島正芳氏から講演をいただく。その他アトラクションを予定して

おり、広告等にも予算を見ている。

教育課長 今回の講演で出雲崎が金の道しるべであつたことを改めて伝え、その時代から見た良寛さんを捉え直し、今後に活かす方法を考えて行く。

**保育所等における
性被害防止対策に係る
設備等支援事業補助金**
15万円

島議員 保育所その他子どもたちが関連する施設からの申し出によるものか。

こども未来課長 令和5年度から国の補助金がスタートし、園から遊び等で着替える際に目隠しとなるパーティションの希望があつたもの。

**住宅費宣伝広告
業務委託料**
52.2万円

高橋議員 内容はどうか。良寛や佐渡金山とからめてのPRはできないか。

建設課長 この秋、ひまわりハウス等で空きが出ると予想されており、町内外向け新聞広告・折込

チラシ等を予定している。宅地造成の宣伝費と合わせて効果的な方法を検討したい。

**県高齢者・障がい者向け
安心すまいる整備
補助事業補助金**
22.5万円

島議員 何件分か。在宅福祉の推進で福祉のまちづくり条例の理念で行われているものと思うが、該当する方はもつとあるのではないか。この補助金について周知してもらいたい。

**小中学校統合型校務支援
システム構築業務委託料**
258.1万円

保健福祉課長 今現在では1件の予算である。

高橋議員 内容・スケジュールについてはどうか。

教育課長 県が構築する校務支援システムについて、委託事業者は東日本電信電話(株)で、当町の学校数教職員数をもとに事業費が決められた。端末の変更後テストが行われ、令和7年4月から運用を開始する。

1 みやした たか ちき
宮下孝幸 議員



質問項目

1. 自主財源確保と今後の町創りについて

[🔍 詳細は9ページ](#)

2 いし かわ ちゅう か
石川 豊 議員



質問項目

1. 財政調整基金の有効的支出について

[🔍 詳細は10ページ](#)

3 たかはし そく えん
高橋速円 議員



質問項目

1. あすの町の「人材育成」について
2. 使用料について

[🔍 詳細は11ページ](#)



4 しま あす か
島 明日香 議員



質問項目

1. 町消防団について
2. にしやま・いずもぎき通勤通学ライナーについて

[🔍 詳細は12ページ](#)

5 み わ ただし
三輪 正 議員



質問項目

1. 「佐渡島の金山」世界文化遺産登録の出雲崎の対応について
2. バス路線の天領の里への延長について

[🔍 詳細は13ページ](#)

6 こばやし れい こ
小林玲子 議員



質問項目

1. 「二十歳のつどい」について

[🔍 詳細は14ページ](#)

7 なか だ たかのぶ
中田孝信 議員



質問項目

1. 行政におけるPPAP問題のその後について

[🔍 詳細は15ページ](#)

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会
YouTube チャンネル

9月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡



自主財源確保と 今後の町創りは !!



宮下 孝幸 議員

町長

様々な思考をこらし、 自主財源確保に努めていく

私は当選以来、この町の行く末の安定には、自主財源確保が必須と言い続けてきた。

ふるさと納税について

町長は自主財源確保の為、新たな返礼品開発を模索するとしているが、どの様な返礼品なら寄付額増につながると思うか。

町長 先ずは既存の返礼品のバリエーションを増やし、体験型メニューの追加や、魅力の伝わる画像作成などのより、町独自の魅力ある返礼品のPRに努め、ふるさと納税の寄付額増につないでいく。

町長 とかくみやげ物競争と揶揄される返礼品だが、人は飽きる生き物。新たな返礼品もやがて頭打ちとなる。なら今後、都度新たな開発をやるという事なのか。

町長 新たな返礼品開発には、時間や費用が必要となるので、新規開発は簡単にはできない。近年の寄付額

も減少傾向にあるが、今まで伸ばす努力をしてきたのか疑問もある。工夫をこらし、様々な機会を寄付額増の機会としたい。

観光立町について

町長 エコパーク財源も終焉が見えてきた現在、当町には次の様な歴史的資産がある。

- 奥の細道の芭蕉
- 金銀荷揚げ天領の地
- 妻入りの街並み
- 石油産業発祥の地
- 北前船寄港地

永続的自主財源の確保は、これらを活かした「観光立町」を構築すべきと思うが。

町長 訪れて頂いた方々に買い物や食事などをして頂く事で循環が起き、結果観光での自主財源につながると思う。

イベント観光は

町長 イベントで人を集

める事が本来の観光なのか。イベントはあくまで観光の呼び水だと考える。本年も数々のイベントが行われたが、町長はイベントで人を集める「イベント観光」をどう思うか。

町長 当町の魚介類や物産、あるいは歴史などを発信する機会となるイベントは必要だ。本年のイベントも大盛況であった。それを機会に魅力を感じてもらおう町創りが大切だ。

インバウンド観光は

町長 人集う町は多くの経済効果を生み、新たな産業や雇用を生み出し必ず税収となる。町長は「インバ

ウンド観光」についてどう思うか。

町長 現時点では難しい。しかし、世相の波に乗り遅れない対策は必要だ。今後ネットやメディアなどを使い増やしていきたい。

覚悟ある政治的決断は

町長 「観光立町」を構築する覚悟はあるか。

町長 議員お話の通り、地域の観光資源を活かして、今後も自主財源確保の取組を進めていく。国や県、議員や町民の力も借りて覚悟を持って取り組んでいく。



船の帆を模る天領の里の案内看板

財政調整基金の 有効的支出はいかに

町長

20億円程度は確保しておきたい



石川 豊 議員

**令和6年度一般会計予算
に対する財政調整基金の
妥当な割合はいかほどか**

石川

令和6年度一般会計当初予算の64%弱とかなり高い割合になっているが、町長の所見を伺う。

町長

財政調整基金が増えすぎるのはいささか疑問があるが、災害時における税収減や公共施設の維持管理のために目的基金への積み増し等、財政調整基金だけが突出して多くならないように努めている。

**町活性化のため
財政調整基金の有効的
出動はあるか**

石川

財政調整基金は潤沢にあれば、歳出にあたって財源不足が生じた場合の安全弁であり、また不測の事態において緊急支出をしなければならぬ場合の大事な財源であることは、

重々承知している。

しかし、当町財政の規模では、そこまで積み上げせずに財政調整基金の有効的出動をして、町の活性化を図るべきと考えるが、如何なものか。

公約に挙げてある地域経済の活性化の一つである企業誘致や生業を立ち上げる支援による雇用の確保、また農林水産業の推進策を実行することにより、町の賑わいや活性化に繋がり、結果として、税収に反映され

るものと考えているが、町長の所見を伺う。

**20億円程度は
確保しておきたい**

町長

仮将来的財政負担に備えるためにも、現在の20億円程度の財政調整基金残高を確保していくことが重要と考える。

現段階では、7つの選挙公約に掲げたものに対して、具体的に実行する計画は考えていない。

エコパークいずもぎの交付金の減額、近い将来に訪れる公共施設の機能更新などを考え合わせると、財源不足に対応するためにも財政調整基金残高の適正な確保に努めていきたい。

しかし、町の課題も山積しており、町総合計画に基づく事業の財源として、大胆に財政調整基金の出動も必要ではないかと考える。



空き地が増加している妻入り街並み街道沿い



高橋 速門 議員

次世代の有為な人財を 育てる意欲はないのか？

町長

当然意識はしている、
頼りにしている



町長の七つの約束に青壮年
への施策がないのはなぜ？

高橋 町七つの約束には

若い世代への施策が盛られて
いるが、社会を支えている
青壮年世代には何もない。
青壮年の皆さんは意識さ
れていないのか。

頼りにしている

町長 次世代にバトン
を繋ぐ大きな役割がある。

ウェルビーイング
(地域幸福度指標)で
町を活かせ

高橋

いままでの「転出
を抑え転入を促進する」か
らの脱却が必要だ。

人材でない！ 人財だ、
財産だ。みんなで造り上げ
る財産として青壮年への施
策が要る。

今の時代に合った方法が
あるはずだ

町長

人材育成の進め方
にはその時代にあったやり
方がある。どのような人材
が求められている
か把握することが
大事だ。ニーズをと
らえて最も効果的
な方法を検討した
い。

使用料の見直しを提言する！

町長

いろいろ町民のご意見を伺い検討、判断する

ランニングコストなどから
使用料を見直す時期だ

高橋

使用料にはいろい
ろあるがランニングコスト
からみても掛かるものはか
かる。見直しの時期ではな
いか。

中長期的視野で
考えたい

町長

使用料には町営住
宅、上下水道、ふれあいの
湯、体育施設などいろいろ
ある。

新年度予算に向けてなん
らかの答えを出したい。

体育施設については条例
で定められていたり長岡定
住自立圏域などの協定も
あり現在無料だ。

今後の見直しについては
中長期的な財政負担を視野
に入れ、かつ町民のスポー
ツ振興とも並行しながら考
えたい。



島 明日香 議員

消防団維持の具体策は

町長

今の時代に合った消防団の姿を描く

団員を増やすための 具体策は

島 地域に密着している
当町の消防団の活躍は、
元日の地震でも実感され
たと思う。今後は団員を
増やす試みと同時に、少
ない定員でも活動を維持
していく体制整備も必要
である。
また、女性や若者など
幅広い住民の加入を促
進するための国の予算も
活用しながら、分団の再
編成や資機材の整備、充
実していくことを望む。

体制整備の必要性はない

町長 学生に頼るよりも、
社会人の入団を望んで
いる。女性や青年の方々
が入団したいと思うよう
な消防団の姿を描いてい
く必要がある。資機材や
報酬だけの問題ではな
い。まずは定員の確保に
向けた取り組みを率先し
て進めたい。

消防団専用のアプリ導入や 町公式LINEの活用を

島 火災発生時の消防
団出動要請や出動可否
連絡の効率化を図るた
めのアプリ導入と、町公
式LINEでも火災発生等
の情報を速やかに流し
てほしい。

費用対効果から アプリ導入の必要なしと判断

町長 当初予算の編成
段階で検討した結果、毎
年約60万の予算が必要
になることから、本町の
消防団の規模や災害発生
件数を考慮すると必要は
なく、地元団員がすぐに
対応可能であると判断し
た。

公式LINEは、災害時
の連絡はもちろん、も
っと情報を発信し、登録
者数を増やしたい。



消防訓練の様子

にしま・いすもぎ
通勤通学ライナー

周知徹底と通学費助成対象に！

町長

利用者がいる場合は助成対象にしたい

町民が 使いやすいように

島 久田から尼瀬ま
で、保育園児や小学生、
中学生が多く住んでおり、
将来柏崎方面の高校に通
うかもしれません。送迎が
できる保護者や親族、友人
が必ずいるとは限らず、こ
どもの進路を狭めることにな
らないようライナーの周知
徹底と、通学費助成の対象
になることを望む。また、
発着場所の再検討を含め、
存続できるよう町民の意見
の聴取を念入りにしてほしい。

周知で利用者が 増えるか 疑問

町長 周知方法としては、
町公式LINEでのPRも
検討する。助成については、
要項にも書き加え、通学で
利用する高校生がいる場合
は、交付要綱を見直し助成
対象とする。発着場所につ
いては、天領の里よりも下
手側に利用者が一人でも
いれば、延ばしたい。



ライナーに乗車する様子



三輪 正 議員

「佐渡島の金山」世界文化遺産 登録の出雲崎の対応について

町長

佐渡と出雲崎のイベントを 実施する

金の荷揚げ地、江戸への
出発地 出雲崎

三輪 長年の運動が実り、

7月に「佐渡島の金山」が世
界文化遺産に登録された。

金の荷揚げ地、出雲崎では
観光、地域の活性化にとつ
て大きなチャンスである。

今まで当町で佐渡市主催な
どによる「金輸送のイベン
ト」や講演会、佐渡小判な
どの展示会が何度も実施さ
れた。

登録されたことによる、

佐渡市とのタイアップした
イベントなど今後の町の観
光振興について検討してい
るか、町の所見を伺う。

佐渡の芸能や記念講演会
の実施

町長 登録記念講演会を

11月に、敬老会にて佐渡の
鬼太鼓や佐渡民謡の団体か
ら披露してもらう。

講演会では相川で米問屋
を営んでいた橘屋（良寛の

生家橘屋の分家）や良寛の
母の実家などについてお話
していただく。今後も佐
渡と出雲崎、良寛、金の道
北国街道を結びつけて、観
光振興していく。

御金蔵ごきんぞうの復元を

三輪

出雲崎の歴史的価
値を示す重要遺跡「御金蔵
をぜひ復元すべきと考える
が、町の考えを伺う。

町長

「金銀御用小道」
周辺に復元する要望だが、
当時の資料が極めて少な
く、場所の特定に至らない
状況である。長い期間のた
め、数回移転している事は
確かであり、観光客にそれ
ぞれの場所を知ってもらう
のも一つの方法なのではな
いかと感じる。

三輪

今後、検討して、
ぜひ機会があれば再考して
もらいたい。

バス路線の天領の里への 延長について

町長

極めて厳しい状況である

町の観光重点地区に
ついて

三輪

観光拠点「天領の
里」の賑わいは当町にとつ
て大変重要である。今年、
バス路線の出雲崎柏崎線が
廃止された。柏崎、長岡、
県外の人達にとって大変不
便になったため長岡線を
「天領の里」まで延長する
ことが必要である。

周辺は漁港や妻入会館な
どがあり「町の観光重点地
区」であり、住吉町のバス
停より1キロ、歩いて10分
以上かかる。雨風雪と暑い
時は無理である。乗客の増
加も期待される。バス運行
会社にも強く要望すべきと考
えるが町の所見を伺う。

町長

利用者の大幅な減
少、運転手の高齢化、運転
手不足によりバス事業者に
とって厳しい状況であり、
路線延長は要望しても極め
て厳しいと考える。現状の
路線の堅持とデマンド交
通「てまりん」の有効利用
によって、



昨年10月1日の
金輸送イベント

「二十歳のつどい」の開催について



小林 玲子 議員

町長

「二十歳のつどい」を大切に、
交流の場と考えたい

当町の若者向けの支援制度やふるさと納税などのPRをしてはどうか

小林 「当町には子育て支援や定住促進支援、開業支援など様々な若者を応援する支援制度が充実している。今から当町の制度をアピールすることで、将来を考える選択肢の一つにできると思う。「ふるさと納税」については当町でも力を入れた事業の一つである。出雲崎町を離れた方から当町を応援していただけるように寄付金の活用方法の説明をしたり、出雲崎の特産品を「二十歳のつどい」の記念品にすることで、町内外の方に出雲崎町の良さを広く知ってもらえることができると思うが町長の考えを伺う。

町長 「今年5月に実施した「25歳のつどい」では当町のPRを実施した。町の情報伝を伝えることで地元の情報確認、つながりを感じることができると思う。将来

的な社会貢献への意識が芽生えることも期待できることから、実施可能と考え



恩師との懇談会の様子

小林 「25歳のつどい」ではPRをしているのに、今回、出来なかったことは残念に思う。

町長 今回のPRの機会を設けることが出来ずに残念だった。今後は、町の支援制度や税の使い方など皆さんから関心をもっていただけのような体制を整えていく。

当日、町長との交流の場を設けることは可能か

小林 「二十歳のつどい」の開催の際に、町長との交流を設け、町の活性化など、若い世代の考えを聞くことで、今の出雲崎町に対する要望など現実的な多様な意見が聞け、今後の町づくりの大きな力になると思うが町長の考えを伺う。

町長 式典等の内容については準備委員会を開催し協議している。交流会は町の現在や将来についてのビジョンを直接聞くよい機会になる。その都度、対象者の方々から意向を聞きながら検討したい。

中学生、高校生と意見交換をすることは可能か

小林 「議員も例年、交流会を開催しており、町づくりに対して活発な意見が数多く提案され、直接意見交換ができる貴重な機会に

なっている。

その時に提案された意見が、町づくり反映されていたり、されなかった理由などが「二十歳のつどい」等で聞くことができるさら

町長 進学先が別々になったり、受験期や就職準備期間等で一人一人のスケジュールが多忙な時期と理解している。積極的な意見交換の機会を設けることは考えていないが、要望があれば検討する。



お互いの近況報告をする様子



中田 孝信 議員

①町内における情報セキュリティのその後について ②個人情報の取り扱いにおける上長決裁について

町長

- ①旧来の方式を廃止し、5月1日以降は新しい方式で行っている
- ②現状は考えていない

町長 旧来の方式（PPAP）は4月30日をもって廃止し、ファイルを送信する必要がある場合には、新潟県が運用する*セキュリティファイル交換サービスを利用して送付している。また、運用変更に伴い、今後メールの誤送信や添付ファイルに誤りがないか十分に注意するように通知している。

中田 3月定例会で質問したPPAP（パスワードでロックされたファイルをメールで送った後に、パスワードの書かれたメールを別送する方式）問題は改善を進めていくことだったが、どこまで進んでいるか。

PPAP問題のその後の対応について

マルウェア

ウイルスなどといったコンピュータに悪影響を及ぼしたりやクレジットカードや個人情報などを盗んだりするプログラム・ソフトウェアの総称。

カタカナ用語解説①

町長 情報セキュリティ対策の強化は平成29年度より本格的に取り組んでおり、パソコンを利用する職員を対象とした「情報セキュリティ特定個人情報取扱研修」や「*インシデント対応訓練」の実施、各係を対象とした外部監査等を毎年実施している。

また、外部への情報持ち出しを防ぐために特定のUSBメモリ以外へのコピーができないようにし、職員が利用するパソコンには

中田 セキュアファイル交換サービス以外の改善または変更などは行ったか。

個人情報の取り扱いに対する上長決裁について

中田 個人番号（マイナンバー）や謄本などを外部に送信する必要がある場合について、上長決裁を受けた上で送信するといった二

*マルウェアの感染を防ぐためにリアルタイムで監視・対策を行うソフトウェアをインストールして、対策の強化を図っている。

セキュア

英語で「安全な」「危険のない」などの意味。IT分野においてはウイルス対策やデータの暗号化（外部から読み取れないようにする）などの対策をし、セキュリティが確保された状態を指す。

インシデント

英語で「出来事」「事案」などの意味。IT分野においてはウイルス等に感染して、情報漏洩につながる状況が発生していること。一般的には一歩間違えれば大事故や大惨事となる状況のことを指す。

カタカナ用語解説②

重、三重のチェックを行う予定はあるか。

町長 上長決裁などは特に考えていないが、ヒューマンエラーが起こらないようにしなければならないと考えている。そのためにも二重チェックを取るようになり、肉体的・精神的疲労が蓄積しないようにしたり、単独で作業をしないようにしたりといった目配りも考えていかなければならないと考えている。

全員協議会 7・9月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

出雲崎大祭の町支援策

高橋議員

総務課や産業観光課、教育課の支援が大祭に有効に作用したが、次の日の神輿を高い神社まで担いで納める作業が、関係者の激減により難渋していることを認識しているか。

産業観光課長

準備や後片付けに大変な労力がかかっていることを認識している。神輿の格納施設を家並に降ろすことも考えられるが、候補地や予算など様々な問題がある。団体関係者と相談しながら進めたい。

高橋議員

祭り提灯が劣化等で軒先に出せない家が増えていく。雰囲気盛り上げる意味でも、撥水性の紙質で「まつり」



神輿を担いで登る神社の階段

と書かれた紙風船を全戸に配る等の支援を提案するがどうか。

産業観光課長

イベント等で軒先に掲げる提灯等を準備するのであれば、町地域のにぎわい創出事業補助金も活用できると考える。盛り上げるための考えが地域でまとまれば、可能な限り協力したい。

越後天領の里

指定管理者募集要項

産業観光課長

町の観光拠点として地域と連携し、歴史並びに文化の効用及び地域産業の振興を図り、交流人口の拡大、地場産品の開発・消費喚起、拡大などを促進し、町の活性化に資することを目的とした内容である。指定期間は、令和7年4月1日からの5年間とし、公募により募集し、プロポーザル方式により審査、選定をする。申請資格は、法人その他法人格を有する団体とする。また、複数の法人等で構成をする協働事業体のうち、天領の里管理を行ううえで、人的及び物的管理能力を有すること。町への納付金は、

消費税抜きの売上高1%以上を納付する。

石川議員

夕日の活用、情報発信及び営業活動業務、観光及び歴史文化等の情報提供業務、集客イベント企画・立案・開業業務については、審査基準を傾斜配分で10点に引き上げることが検討してほしい。

高桑議員

他町村との連携や市場産品の活用についても配点を高くしてどうか。町のやりたいうこと、望むことを明確にする必要がある。

加藤議員

良いイメージで来て、また来たいと思っていただけけることを目標に、施設全体の環境づくりをしてほしい。その辺の評価基準を適格にするべきである。

高橋議員

石油記念館の文書類の管理を徹底することを要項の中に入れてほしい。

津波避難を含む 防災計画策定の進捗状況

石川議員

津波避難による一時避難場所等の見直し、町道に下りずに一時避難場所から、備蓄

品がある避難場所が続く通路の整備等についての進捗状況は。

総務課長

すでに津波避難緊急支援施設基本計画策定業務委託業者が決定し、11月末までには基本計画の素案を町とともに作成する。また、避難行動の整備や指定緊急避難場所等の検討を終え、予定通りに進んでいる。

石川議員

町防災計画の見直し策定において、国政府の中央防災基本計画に右ならえたものではなく、本町の特性が反映された形で進められているのか。訓練やマニュアルは本場に役に立つのか、計画策定の目的を再確認してほしい。

総務課長

実践できる形での計画にまとめていきたい。

地域公共交通

高橋議員

タクシー業務時間について、町民にとって使い勝手が悪すぎて日常が担保できない。出雲崎交通に改善を要望するのは簡単だが、悪循環を生んでいる状況をどのように認識しているのか。

総務課長

運転手の高齢化やコ

災害復旧工事

産業観光課長

一つ目は、7月11日に上中条の住宅裏山の崩壊を確認した。前日まで県の土砂災害警戒情報が発令されており、災害申請に可能な20mm/hを超えていた状況から、緑のぼんそうこう事業により災害復旧が可能であると県の判断で作業を進めた。

二つ目は、6月3日発生のが登半島地震の余震により、上野山の農業用パイプラインが破損し、災害復旧工事として予算を確保し実施した。

少しでも早い施工で住民の方々の安心な生活につながるため、また優良農地を少人数で精力的に耕作していることから、

両方所とも専決処分を受けて復旧工事をおこなった。

いずもぎ

健康まちづくり座談会

保健福祉課長

健康増進計画の

さらなる推進と町の施策の見える化を図り、町民の健康意識の向上を目的とする。集落の行事や集会、役員会や忘新年会で年齢問わず集まる機会を活用し、保健師と職員がブッシュ型で訪問する。そこで、特定健診の結果を分析、わかりやすく町の疾病状況や傾向値を報告、健康事業の紹介、健康をテーマとした意見交換会をおこない、町民の意見を施策に反映、健診等の速やかな受診につなげる。町ホームページや公式LINE、広報誌等で周知する。

【今後の対応と計画】

令和7年度から、デイサービス事業はデイサービスセンター紙ふうせんに統合する。現在の紙ふうせんの稼働率や今後の利用動向を見極め、必要により定員を増員し利用者のニーズに添えていく。法人は、10月上旬に利用者やご家族にケアマネを通して説明し、不便のないよう努

新型コロナワクチン定期及び任意予防接種費用における自己負担額の決定

保健福祉課長

65歳以上の定期

接種費用、0～18歳と妊婦対象のインフルエンザワクチン、おたふく等の任意接種費用の自己負担額を3800円とし、助成額を拡充した。ワクチン接種希望者が想定できないため、今後とも状況を見極めながら不足については補正予算で対応する。

第二回

いずもぎシンポジウム'24

教育課長

10月27日(日)午前9時に種目ごとに順次スタートし、正午を最終の目安とする。参加

人数は412名、スタッフは約120名、ランナーサポートとして医師や看護師、ボランティアランナー、給水所を設けている。サザエの炊き込みご飯や豚汁、キッズダンス等でおもてなしをする。大会開催中は、コースの通行規制を行うため、事故等ないよう周知徹底する。

町営住宅の緊急的な利用

島議員

最近、家庭内でのモラハラ行為を受けている事例が多くあります。日々懸命に子育てをしている方や子ども達が精神的に追い込まれる前に、空いている町営住宅を有意義に利用できないか。

建設課長

夫婦喧嘩の冷却期間のためのような仮住まいは難しくなっている。しかし、トラブルの相談で新潟市の「女性相談支援センター」や長岡市の「女のスペース」等から入居の依頼や相談があれば、場合によっては優先的に若しくは臨時的な入居も考えられる。DV防止法関連では、団体と町でDV被害者の新たな居住地が分らないよう困り込み、広域的な利用や町営住宅に入居決定できる例もある。

議会のつどき

(主なもの)

(令和6年8月～10月)

8・9 議会運営委員会

21 第8回全員協議会

↓詳細はp16～17

24 議会サロン(陽だまり)

29 議会運営委員会

30 議会モニター委嘱式

↓詳細はp18

9・12 9月定例会初日

↓詳細はp6～7

13 社会産業常任委員会

総務文教常任委員会

17 9月定例会一般質問

↓詳細はp8～15

18 決算審査特別委員会

↓詳細はp7

24 議会運営委員会

9月定例会最終日

↓詳細はp6～7

第9回全員協議会

↓詳細はp16～17

26～27

議長会議(湯沢町)

10・2 議会報特別委員会

9 議会運営委員会

議会報特別委員会

15 第10回全員協議会

議会報特別委員会

26 議会サロン(妻入り会館)

28 議会運営委員会

29 議会広報研修会

30 10月臨時会

出まえ議会の

お知らせ

総務文教常任委員会 視察・調査報告

総務文教常任委員会では、閉会中の継続調査として、災害備蓄品の状況について、7月11日に現地調査を行いました。

当町に16箇所ある指定避難場所のうち、「西越地区農村環境改善センター」「海岸公民館」「天領の里」の3か所と「役場多目的棟」を現地調査いたしました。また西越地区農村環境改善センターでは、原子力災害時に外部の汚染物質を取り込まないフィルトリングシステムを見学し説明を受けました。視察後に意見交換を行いました。

次のような意見が出ました。

1 備蓄品の中に簡易トイレはあったが、ティッシュペーパー、トイレトペーパーも必要と思う。また、アルミシートの備蓄はあるが、ごみ袋や雨よけ・防寒など様々な用途で使える大きなビニール袋や乾電池など使用期限がなく、あると役に立ちそうなものが用意できないか。

2 持病をお持ちの方、酸素吸入が必要な方など、要支援者名簿で対象者の把握と対応できるように準備

3 備蓄品についてはその何があるのか、災害時に取りに来る人配る人が探さなくても一目でわかるように掲示と整理を工夫いただきたい。

総務課からは、すぐにできることから対応するとの話がありました。

昨今、予測がつかない大きな災害が頻発しているように感じられます。総務文教常任委員会として、町民の皆様の安心・安全のため、環境整備・改善のために努めてまいりたいと考えます。

委員長 高桑佳子



2名の方から議会モニターに就任していただきました。任期の2年間、議会傍聴など通して、議会運営に関する要望、提言をいただき、議会の活性化をしていきたい。

(中野勝正)

議会の活性化

議会モニターの委嘱



加藤副議長

おたにのぶこ
大谷信子さん

のざきあつこ
野崎温子さん

中野議長

モニターの方に お願いすること

- 会議を年1回以上傍聴する
- 議会運営等について意見を提出する
- 議会との意見交換会に年1回以上参加する
- 議会運営についての調査事項に回答する

11月14日(木)、15日(金) 2回の開催

「顔が見える議会」を目指して！

出まえ議会を開催します。



出まえ議会は、議員が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。



お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	開場時刻	担当委員
11月14日(木)	八手地区農村環境改善センター	午後7時	総務文教常任委員
11月15日(金)	海岸公民館	午後7時	社会産業常任委員

総務文教常任委員	高桑佳子	石川 豊	宮下孝幸	小林玲子	中野勝正
社会産業常任委員	島 明日香	高橋速円	三輪 正	中田孝信	加藤修三

議会サロン 今後の予定

開催日	会場	時間	担当議員
11月23日(土)	ホッと情報館 陽だまり	午前10時 ～正午	高橋 速円 島 明日香
1月25日(土)	妻入り会館		三輪 正 加藤 修三

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。



※ 12月の議会サロンは 12月定例会があるため、開催しません。

出雲崎町で博物館を 開業するチャレンジ

出

雲崎町の皆様、ご支援、ご声援いつも大変ありがとうございます。

出雲崎レトロミュージアムをオープンしてから早10ヶ月になろうとしています。新潟の子供たちが冬の寒い時など屋内で遊べるレトロな施設を作れないか物件を探していた所、現在の場所と子育て支援に力を入れて

いる出雲崎町との考えが一致し、開業に至りました。お越しいただいた観光客の皆様が、出雲崎の飲食店や他の施設をどんどん利用して頂けるような流れになるように頑張っていきたいと思っています。

今後のご協力、ご支援もお願いしたいと思います。



みんなの声

出雲崎レトロ ミュージアム (大門)

なかのけんいち
中野賢一さん



表紙の小話

青空に

たくさんシャボン玉

10月6日に天領の里で開かれた食と文化のPRイベント、「まんぷくまつり」が大盛況でした。

今年の目玉は「出雲崎の輝き」を使ったミニ井の食比べ。私もいただきましたが、ミニとはいえ、なかなかの食べ応えでした。

数あるイベントの中でも、子どもたちが大歓声を上げたのが、泡人SOUさんのシャボン玉パフォーマンス。大小様々、次々に繰り出されるふわふわのシャボン玉に手を伸ばして、捕まえようと必死です。ひまわりちゃんの可愛いバルーンも素敵でした。

収穫が終わって、ようやく訪れた涼やかな秋、海を見ながら癒やされた一日になりました。

(高桑佳子)



編集後記

9月に発生した能登豪雨により亡くなられた方に対して心より哀悼の意を表します。また被災地の皆様には、1月の地震に続き大変な苦勞をされており、かける言葉が見つかりません。一日も早い復旧復興を願うばかりです。

自然災害もさることながら、昨年に続き今年の夏の「猛暑」という言葉、何回くらい口にしたでしょうか。議会だよりが発行される頃には、過ぎやすい季節を迎えたいものです。

ところで、多世代交流館「きらり」の脇に、屋外こども広場が完成して、子どもたちが楽しく遊ぶことができるようになっていきます。小さなお子さんがおられる保護者の皆さんは、もう行かれたでしょうか。

出雲崎町の子育て支援事業は他町村に比べ、かなり充実しております。是非この機会に屋内施設だけでなく、屋外こども広場に足をお運びください。

(石川 豊)

議会報特別委員会

委員長 石川 豊
副委員長 高桑 佳子
委員 島明日香
委員 小林 玲子
委員 中田 孝信

議会だより発行予定

発行は年4回。発行日は4月25日・7月25日・10月25日・1月25日です。

議会の傍聴にぜひおいでください。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 中野勝正 編集/議会報特別委員会 題字/南波秋海 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>